

- 問1 近畿地方北部の日本海沿岸に位置する都市の統計において、12月や1月の月降水量が300mmを超え、夏季よりも冬季の降水量が多くなる特徴を持つ気候区分を何といいますか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 中央高地の気候 2. 瀬戸内の気候 3. 日本海側の気候 4. 太平洋側の気候
-
- 問2 近畿地方に位置する京都府の地理的な特徴について、隣接する府県の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 徳島県・広島県・岐阜県 2. 鳥取県・香川県・愛知県 3. 岡山県・和歌山県・石川県 4. 兵庫県・大阪府・福井県
-
- 問3 ある都道府県の産業統計において、工業生産額が25兆円規模と全国トップクラスである一方で、農業生産額が1000億円程度と極めて低くなっています。この都道府県の産業に関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)
1. 広大な土地を活用した大規模な稲作が行われ、工業よりも農業の比率が極めて高い。 2. 中京工業地帯の中心であり、自動車産業の集積とともに全国有数の農業生産額を誇っている。 3. 阪神工業地帯の中核に位置し、古くから金属工業や機械工業などの製造業が発展してきた。 4. 温暖な気候を利用したピーマンやマンゴーの促成栽培が盛んで、農業生産額が工業生産額を上回っている。
-
- 問4 大阪大都市圏の特徴に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. 日本最大の人口規模を持ち、国会議事堂や最高裁判所などの首都機能が集中している 2. 本州と四国を結ぶ交通の要衝として、瀬戸大橋を通じて経済圏が拡大している 3. 大阪市、京都市、神戸市の三つの政令指定都市が中心となって圏域を形成している 4. 中京圏とも呼ばれ、自動車産業を中心とした工業地帯として発展している
-
- 問5 大阪市で見られる「瀬戸内式の気候」において、年間を通じて降水量が比較的小くなる理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 寒流である親潮の影響により、上昇気流が発生しにくい。 2. 標高の高い地域に位置しており、湿った空気が到達する前に雨を降らせるため。 3. 夏と冬の季節風が、それぞれ四国山地と中国山地に遮られるため。 4. シベリア高気圧の影響を一年中強く受け、乾燥した空気が滞留するため。
-
- 問6 日本の工業製品の製造品出荷額等を地方別に示した統計において、近畿地方は、ある製品の出荷額が占める割合が約41.2%に達し、北海道や中国・四国地方など他の地方と比べて極めて高いという特色があります。大阪などの大都市を抱え、出版・報道機関が集まっていることが背景にあるこの製品分類として正しいものを選びなさい。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 食料品 2. 輸送用機械 3. 繊維製品 4. 印刷・関連製品
-
- 問7 滋賀県における気候の地域差について、北部の地点と南部の地点の雨温図に見られる特徴を比較した記述として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
1. 北部の地点は一年を通して降水量が極めて少ない地中海性気候に近いが、南部の地点は梅雨の時期にのみ降水が集中する。 2. 北部の地点は冬の季節風を山地が遮るため降水量が減るが、南部の地点は冬に太平洋からの湿った風を受けて積雪量が増える。 3. 北部の地点は標高が高いため一年中気温が低いままであるが、南部の地点は冬でも氷点下にならないほど温暖である。 4. 北部の地点は冬に降水量のピークがある日本海側の特徴を示すが、南部の地点は夏や台風の時期に降水量が多くなる太平洋側の特徴を示す。
-
- 問8 本州と四国の間の瀬戸内海東部に位置する淡路島では、神戸や大阪などの大消費地に近いという立地条件を活かした農業が行われています。このような、都市の周辺で新鮮な農産物を供給する農業の形態と、この島で生産が盛んな野菜の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 抑制栽培として、キャベツの生産が盛んである 2. 促成栽培として、ピーマンの生産が盛んである 3. 土芸農作物として、茶の生産が盛んである 4. 近郊農業として、レタスの生産が盛んである
-
- 問9 近畿地方を日本海側から太平洋側へ横切るように切断した際の標高の変化を説明した記述として、地形の成り立ちや特徴を踏まえた表現として最もふさわしいものを選んでください。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 北端の日本海側には若狭湾などの沿岸低地が見られ、中央部には標高の高い山地が険しくそびえ、南端の太平洋側にはリアス海岸や沿岸低地が分布する。 2. 北端から南端まで標高100メートル以下の平坦な平野が続いており、全域で稲作を中心とした大規模な農業が行われている。 3. 日本海側には標高3,000メートルを超える火山が連なり、中央部の広大な盆地を経て、太平洋側にはなだらかな台地が広がっている。 4. 中央部に広大な高原地帯があるため、日本海側と太平洋側のどちらから向かっても、標高が一定の高さで維持される平坦な断面図となる。
-
- 問10 近畿地方において、鉄道による旅客輸送量が他の地方と比較して非常に多くなっている主な理由として、適切な説明はどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
1. 大阪を中心に複数の主要都市が密接しており、都市間を結ぶ鉄道網の発達と高い人口密度があるため。 2. 重化学工業の拠点が内陸部に集中しており、工業原料や製品の運搬に旅客列車が優先的に転用されているため。 3. 自動車の所有率が全国で最も高く、道路渋滞を避けるための代替手段として鉄道が特別に整備されたため。 4. 広大な平野部を活かした大規模な農業生産が行われ、農産物の市場輸送に鉄道が多用されているため。
-
- 問11 近畿地方の産業について述べた次の文章のうち、空欄にあてはまる最も適切な語句を選択肢から選びなさい。「奈良県南部に位置する紀伊山地では、多雨な気候や急峻な地形を活かした林業が古くから盛んである。この地域で産出される木材は、建築資材などに用いられる高品質な（ ）として全国的に知られている。」 (2021年 福島県公立入試 類似)
1. 屋久すぎ 2. 吉野すぎ 3. 秋田すぎ 4. 木曽ひのき
-
- 問12 江戸時代の大坂が「天下の台所」と呼ばれるほどの商業・物流の中心地となった理由として、当時の社会の仕組みを正しく説明しているものを選びなさい。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 諸藩が領内の年貢米や特産物を売却して貨幣を得るために、大坂に蔵屋敷を設置して物資を集めたから 2. 大坂周辺で大規模な新田開発が行われ、日本で生産される米の半分以上が大坂産となったから 3. 鎖国体制下において、大坂が唯一の外国貿易港として認められ、海外の珍しい品物が大量に流入したから 4. 幕府が大坂を政治の拠点と定め、全国の商人に大坂への移住と独占的な商売を強制したから

答え合わせ・解説

問1	答え 3 日本海側の気候	日本の日本海側に位置する地域では、冬に大陸から吹き出す北西の季節風が、暖流の流れる日本海の上空を通る際に水蒸気を蓄えます。この湿った空気が山脈にぶつかって上昇することで、冬に雪や雨が多くなり、夏よりも冬の降水量が上回るという特徴が生じます。
問2	答え 4 兵庫県・大阪府・福井県	京都府は南北に長い形状をしており、周囲を多くの自治体に囲まれています。具体的には、西側で兵庫県と接し、南側では大阪府や奈良県と境界を形成しています。さらに、北東部では近畿地方の外側にあたる北陸地方の福井県とも隣接しており、古くから北陸と近畿を結ぶ交通の要所となってきました。滋賀県や三重県とも境界を接していますが、選択肢の中で示された3つの府県はすべて京都府と直接隣接しています。
問3	答え 3 阪神工業地帯の中核に位置し、古くから金属工業や機械工業などの製造業が発展してきた。	工業生産額が非常に大きく農業生産額が極めて低いという特徴は、大阪府に見られる典型的な大都市圏の産業形態です。大阪府は阪神工業地帯の中心として、金属や機械といった重化学工業から中小企業の多様な製品製造まで幅広く発展してきました。一方で、都市化・宅地化が高度に進んでいるため、農地面積は非常に限られており、農業生産額は低い水準にあります。選択肢にある「自動車産業とともに農業も盛ん」なのは愛知県の特徴です。
問4	答え 3 大阪市、京都市、神戸市の三つの政令指定都市が中心となって圏域を形成している	大阪大都市圏は、商業都市である大阪市だけでなく、歴史都市である京都市、港湾都市である神戸市という性格の異なる複数の大都市が連携して成り立っている点が大きな特徴です。日本最大の人口規模と首都機能を持つのは東京大都市圏、自動車産業が中心で中京圏とも呼ばれるのは名古屋大都市圏の説明です。
問5	答え 3 夏と冬の季節風が、それぞれ四国山地と中国山地に遮られるため。	瀬戸内式の気候が乾燥する主な要因は、周囲の山地による季節風の遮断です。夏は南東の季節風が四国山地にぶつかって太平洋側に雨を降らせ、冬は北西の季節風が中国山地にぶつかって日本海側に雪を降らせます。その結果、山地に挟まれた大阪市周辺には湿った空気が入りにくくなり、年間を通じて温暖で晴天の多い、降水量の少ない気候が形成されます。
問6	答え 4 印刷・関連製品	近畿地方は、大阪を中心とした大都市圏を形成しており、多くの出版社や報道機関、広告会社などの事業所が集中しています。印刷業は、これらの情報を発信する機関と密接に連携する必要がある「都市型工業」としての側面を持つため、大都市を擁する近畿地方において出荷額の割合が非常に高くなっています。
問7	答え 4 北部の地点は冬に降水量のピークがある日本海側の特徴を示すが、南部の地点は夏や台風の時節に降水量が多くなる太平洋側の特徴を示す。	滋賀県は一つの県の中でも気候の境界に位置しています。北部は冬季の降水量（積雪）が多い日本海側気候、南部は梅雨や台風の影響を強く受ける内陸性・太平洋側気候の特色を持っています。気温の変化については、南北で大きな差はなく、どちらも季節ごとの変化が明確な温帯の気候を示します。
問8	答え 4 近郊農業として、レタスの生産が盛んである	淡路島は、京阪神という巨大な消費地に隣接しているため、収穫したばかりの鮮度が求められる野菜を短時間で輸送できる利点があります。この立地を活かした農業は近郊農業と呼ばれ、特にレタスやたまねぎなどの栽培が全国的にも有名です。温暖な気候と、地形（北部が丘陵、中部が平野、南部が山地）に応じた土地利用が行われています。
問9	答え 1 北端の日本海側には若狭湾などの沿岸低地が見られ、中央部には標高の高い山地が険しくそびえ、南端の太平洋側にはリアス海岸や沿岸低地が分布する。	近畿地方の地形を断面で見ると、日本海側の若狭湾周辺や大阪湾周辺、そして南の志摩半島周辺などの沿岸部は標高が低いですが、中央部から南部にかけては紀伊山地などの険しい山地が大きく盛り上がった形状を示します。このように、土地の起伏を垂直方向の断面で示したものを地形断面図と呼び、標高の差がはっきりと表れる近畿地方では、中央部の山地と両端の低地のコントラストが明確に描かれます。
問10	答え 1 大阪を中心に複数の主要都市が密接しており、都市間を結ぶ鉄道網の発達と高い人口密度があるため。	近畿地方は、京阪神と呼ばれる大阪・京都・神戸の三都市が経済・文化的に強く結びついた「都市圏」を形成しています。これらの中核都市を結ぶように鉄道が整備され、周辺のベッドタウンから都市部への移動手段として鉄道が定着しているため、旅客輸送量が非常に多くなります。
問11	答え 2 吉野すぎ	奈良県吉野地方は、日本を代表する造林地の一つです。紀伊山地の豊かな自然環境のもとで、密植（木を密集させて植えること）などの伝統的な技術により、年輪が細かく強度の高いスギが生産されています。長野県の本曽ひのきや、秋田県の秋田すぎと並んで日本三大美林の一つに数えられることもあります。
問12	答え 1 諸藩が領内の年貢米や特産物を売却して貨幣を得るために、大坂に蔵屋敷を設置して物資を集めたから	当時の大名たちは、武士に支払う給料や参勤交代の費用を捻出するために、領内の米や特産物を現金化する必要がありました。瀬戸内海などの海上交通の利便性が高かった大坂には多くの蔵屋敷が並び、専門の商人を通じて物資が全国へ流通したことが、大坂が商業の中心地となった主な要因です。